

＝令和元年度早川南小学校だより＝

# はるき



令和2年1月27日

No.42

校長 坂野修一

## 祝 ふるさとづくり大賞 奨励賞受賞！



徳勝龍が貴景勝に勝った瞬間の男泣きに、そして、表彰式での優勝インタビューでのやりとりにも、もらい泣きしてしまいました。「もう33歳でなく、まだ33歳」の言葉をそっくり引用すると、「もう56歳でなく、まだ56歳」ですね。まだまだ精進する余地があるということです。来月から、私が続けているソフトボールの練習が始まります！頑張りたいなあと思いました…。

さて、先週金曜日、うれしいニュースを聞きました。総務省が創設したふるさとづくり大賞の奨励賞に、早川町が選ばれたというニュースです。さっそく総務省のHPを見てみますと、「表彰の目的」にはこう書かれていました。

### 1 表彰の目的

本表彰は、全国各地で、それぞれのところをよせる地域「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することにより、ふるさとづくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的としています。

さらには、奨励賞受賞の概要がこのように書かれていました。

### ○奨励賞（総務大臣表彰）

No.	都道府県	団体名	概要
1	秋田県	藤里町	藤里町は、地域住民を主体とした「Reデザイン委員会」を組織し、住み続けたい町の姿を住民自らが考え、具現化することに取り組んでいる。 同委員会がリノベーションのデザインコンペを手掛けた「かもや堂」は、住民同士の会議の場や起業に向けたチャレンジの場など、地域に欠かせない拠点として機能している。
2	山梨県	早川町	早川町は、地域の活性化には学校の存在が要であるという考え方のもと、平成15年度より親子での山村留学制度を始め、平成24年度からは当時まだ全国的にもあまり例のなかった義務教育経費の無償化に取り組んでいる。 教育に必要な教材費、教育に必要な校外学習経費を町が全額負担し、現在まで継続している。

まさに、この概要どおり、早川町は頑張っていると思います。豊かで活力あるまちづくりを進めるためにも、早川南小学校が元気でなくてはと改めて思いました。まずは、2月8日(土)のありがとうコンサートを成功させなければなりません。地域の方も、大勢来てくれることでしょう。早川南小学校の子どもたちが元気に頑張っている姿を見せるべく、佳境に入ったきたありがとうコンサートの練習を頑張っていきたいと思っています。幸い、今年の今頃は、インフルエンザが猛威を奮っておりましたが、今年はインフルエンザの「イ」の字もありません。このまま健康に学校生活を過ごし当日を迎えることができますよう、保護者の皆さまにおかれましては、子どもたちの健康に配慮いただけますようお願いいたします。



今夕から本格的な雪が降り、大雪になるとの予想が出ています！心配ですが、今年は、「降る」「降る」って言って降らないので、予想が外れることを期待します！一方、雪遊びを楽しみにしている子どもがいることも事実です。そんな子どもたちの願いも叶えてあげたいので、ほどほどの雪でお願いします。なお、積雪状況によっては、明日の登校に影響が出てくるかもしれません。学校からの連絡メールを気にする翌朝でお願いします。それにしても、明日は2時間超えの出勤かな…(ー;) )